

『ねじ締結体設計大系』正誤表

このたびは、『ねじ締結体設計大系』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
本書の内容に以下の訂正箇所がありましたので、訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

箇所		誤	正
p.14	上から13行目	そのような場合には[4.3]節リベット締結(f)モードを参考に願いたい。	そのような場合には本章[6.]図1.49の式、および第9章[3.2]図9.8の破損モード、および式(13)を参考に願いたい。
p.16	上から3行目	(より詳細な力学解析は第8章[9.2]参照)。	(より詳細な力学解析は第9章[3.]参照)。
p.16	上から4行目	(詳細は第8章[9.3]参照)。	(詳細は第9章[4.]参照)。
p.28	式(28)	$F = m \nu^2 / \gamma \doteq 24.0 \text{ kN}$	$F = m \nu^2 / \gamma \doteq 19.3 \text{ kN}$
p.43	7.1 事故状況 上から3行目	ハブの以上な摩耗や	ハブの異常な摩耗や
p.47	上から1行目	2段S-N曲線の減少が起こる。	2段S-N曲線の現象が起こる。
p.265	式(13)	$\sigma_{\theta} = \frac{(M_{\theta})_{r=d/2}}{\frac{t^2}{6}} = -\frac{6}{t^2} \frac{1+\nu}{4\pi} \left(-\frac{1-\nu}{1+\nu} + \frac{2p^2}{p^2-d^2} \ln \frac{p}{d} \right) \quad (13)$	$\sigma_{\theta} = \frac{(M_{\theta})_{r=d/2}}{\frac{t^2}{6}} = -\frac{6}{t^2} w \frac{1+\nu}{4\pi} \left(-\frac{1-\nu}{1+\nu} + \frac{2p^2}{p^2-d^2} \ln \frac{p}{d} \right) \quad (13)$